



子どもの居場所をかんがえるアンケート・ワークショップ 実施報告書

取組の目的

京都市において、令和7年度を始期とする、次期京都市はぐくみプラン（子ども・若者総合計画）の策定にあたって、児童館等を利用する子どもたちの生の声を京都市施策やはぐくみプランに活用等していくために、子どもたちにとっての“居場所”をテーマに、アンケート及びワークショップを実施しました。

アンケートの概要

テーマ : 居場所や過ごし方等のアンケート

実施期間 : 令和6年7月～8月

対象者 : 児童館、学童保育所を利用する子ども
(自由来館含む)

回答数 : 5, 298件

主な設問 : ▶家や学校以外の居場所はどこ？
どんな魅力がある？
もっとこうしてほしいところは？
▶家や学校以外の居場所がない理由は？
どんなところだったら行ってみたい？

※詳細は別紙を御参照ください。

アンケートの結果

○家や学校以外の第三の居場所について

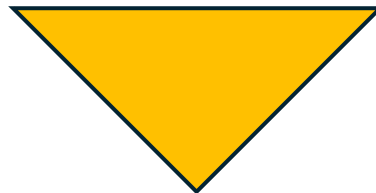
- ・祖父母、親戚、友人の家又は児童館、学童保育所を第三の居場所だと考えている子どもが多く、第三の居場所に自由に遊べることや、のんびりできること、大人が話を聞いてくれること等、様々な魅力を感じている。
- ・第三の居場所を今のままで良いと感じる子どもが多く、第三の居場所に行ったことで、楽しい時間が増え、気づき・学び等につながっている。

○第三の居場所と思える場所がない理由について

- ・家や学校だけで楽しいからという意見が半数近くを占めている。

○居場所に係る回答の傾向について

- ・第三の居場所の有無に関わらず、現在の居場所に対して好意的な意見が集まった。
- ・一方で、居場所に求めていること、魅力に感じていることは多様であり、その時の状況や感情によって必要な居場所は異なると考えられる。



そこで、喜怒哀楽の4つの感情ごとに必要な居場所について想いを巡らせていくワークショップを実施することにしました。

ワークショップの概要

テーマ：喜怒哀楽ごとに居場所を考えよう

実施期間：令和6年10月～11月

対象者：児童館、学童保育所を利用する子ども（自由来館含む。）

参加者数：239名

実施日時・会場：以下の通り



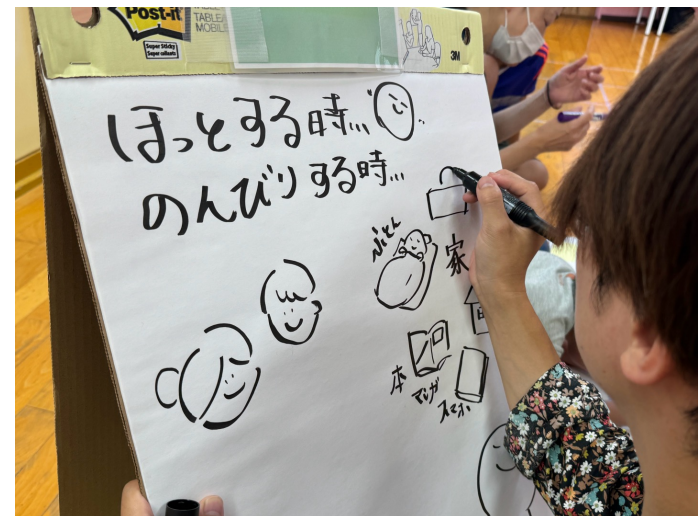
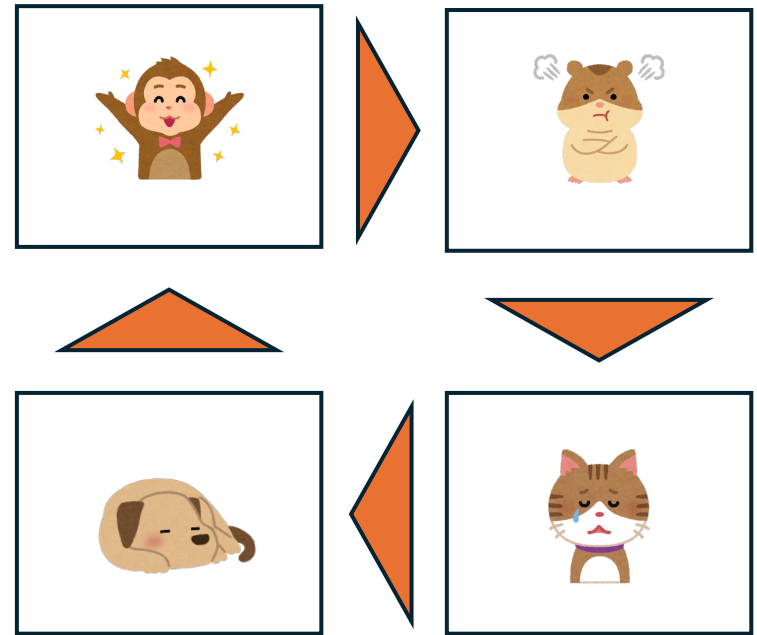
当日の様子は
こちらから

実施日（土曜日）	時間	会場
10月 5日	14時～15時30分	京都市西京極児童館
10月12日	10時～11時30分	祥栄児童館
10月19日	10時～11時30分	京都市室町児童館
10月26日	14時～15時30分	京都市伏見いきいき市民活動センター
11月 2日	10時～11時30分	京都市西文化会館ウェスティ 第1・2会議室
11月 2日	14時～15時30分	希望の家児童館
11月 9日	14時～15時30分	京都市東山いきいき市民活動センター
11月16日	10時～11時30分	信愛こどもの家
11月16日※	14時～15時30分	京都市児童館学童連盟会議室
11月30日	14時～15時30分	中山児童館

※は中高生世代限定のワークショップ

ワークショップのポイント

- ▶ 喜（元気になりたい）、怒（怒りたい）、哀（気持ちが沈んでいる）、楽（リラックスしたい）の4つの感情ごとの必要な居場所について、グループで話し合いました。
- ▶ 子どもたちの発言をサポートし、スムーズな進行を図るため、ファシリテーションの専門家を派遣。また、研修を受けた児童館職員が各グループの進行役を行いました。
- ▶ グラフィックレコーディングにより、議論の内容をイラスト等を交えながら分かりやすく表現しました。

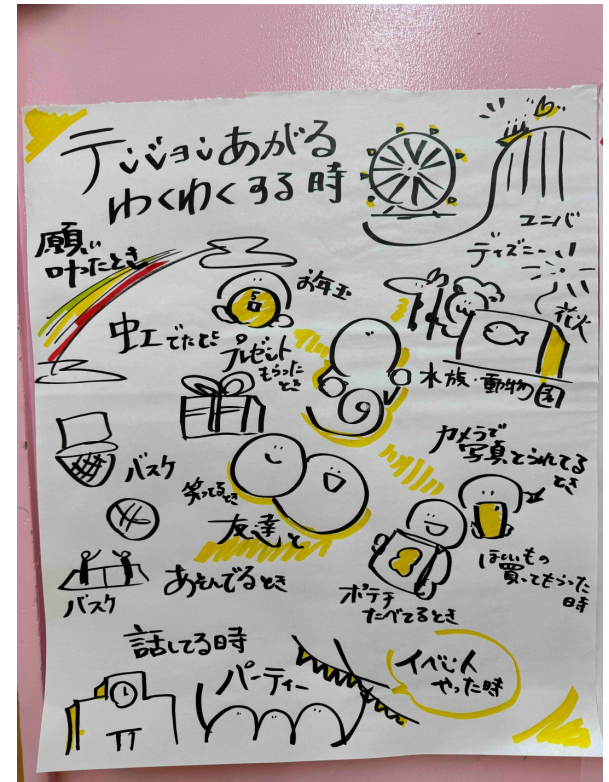


喜から見えてきたこと

友達と一緒にワイワイ楽しく過ごせる空間。明るい雰囲気と、みんなで共有できるアクティビティや小物があり、達成感と楽しみを人と共有できる場所が求められている。

<そういう場所を作るためには？>

- ・ 明るい雰囲気や広々とした空間
- ・ 褒めてくれる（認めてくれる）人の存在
- ・ 歌や音楽を楽しめる空間
- ・ ゲームや漫画などがある場所
- ・ みんなでスポーツやクリエイティブな活動ができるスペース

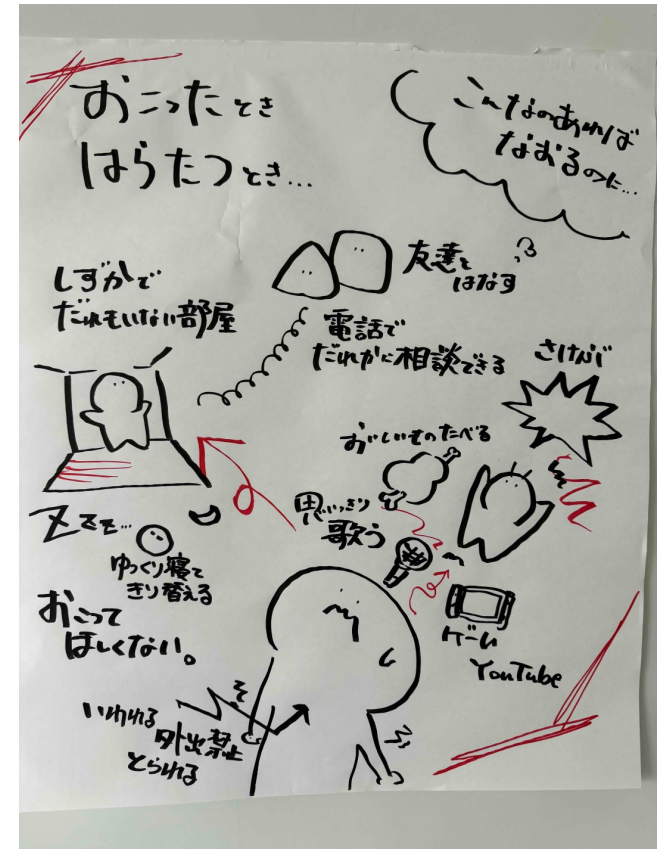


怒から見えてきたこと

感情を落ち着けられる空間。周囲から距離を置いて、冷静に自分を取り戻すことができる場所が求められている。

＜そういう場所を作るためには？＞

- ・ クールダウンできる雰囲気的空間
- ・ 壁や仕切りがあり、少し孤立できるスペース
- ・ 心を落ち着ける音楽や、外音を遮断できる工夫
- ・ 誰かに話を聞いてもらえる場所
(カウンセリングルームや信頼できる大人がいる場所)
- ・ 自由に絵を描いたり、書いたりできる場所
- ・ 怒りを表現するためのコーナー
(ストレス発散など)



哀から見えてきたこと

安心感の感じれる場所。哀しみの原因から距離をおけ、誰かに寄り添ってもらえ、温かくて優しい雰囲気、心を開いて話すことができ、癒される空間が求められる。

<そういう場所を作るためには？>

- ・ 落ち着いた音楽や自然の音
- ・ 人と距離を保ちながら、支えてもらえる空間
(カウンセリングエリアや静かな休憩スペース)
- ・ 感情を表現できる場所
(絵を描く、日記をつけるなど)
- ・ 悲しい感情を忘れられるよう工夫
原因から逃避できる手段がある

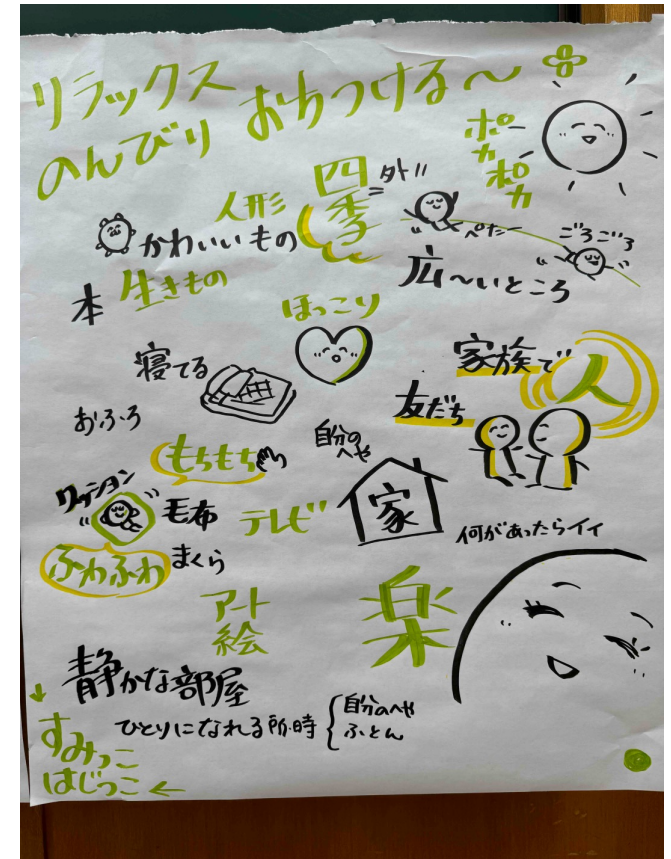


楽から見えてきたこと

何も気にせず、あるがままに心と体を休めることができる場所。忙しい日常から解放され、無理なく心地よく過ごせる空間が求められる

＜そういう場所を作るためには？＞

- ・クッションや布団など、心地よくなるもの
- ・お昼寝スペースや、静かな休憩所
- ・読書やおやつなど、体を休めたりリラックスした時間を過ごせるアクティビティ
- ・開放感を共有できる人や空間



アンケート及びワークショップの所感について

今回のワークショップでは「喜怒哀楽」という4つの感情ごとに、子どもたちが欲しいと感じる居場所について意見を伺ってまいりました。子どもたちが抱える日常の想いや、不安、喜びを直接聞くことの重要性を再確認し、私たち大人がどのようにそれを受け止め、行動に移すべきかについて多くの学びを得ることができました。

子どもたちの意見としては、感情ごとに異なる居場所のイメージが出てきた一方で、どの感情でも「安心でき、自分らしくあれるような場が欲しい」という意見も印象的でした。

一方で、話を聞いて終わりではなく、こうした声をどのように具体的な行動に結びつけていくかがやはり今後の大きな課題と感じています。

このアンケート及びワークショップを通じて得られた子どもたちの声は、次期京都市はぐくみプランの指針や児童館の運営等に活用できると感じています。

子どもたちの声に耳を傾けるだけでなく、それを受け止め、子育て支援や環境づくりに活かしていく意識が社会全体に広がっていくことを願っています。そして、子どもたちが日々の生活で感じる様々な気持ちを安心して表現できるよう、居場所が溢れる豊かな京都市を目指していきたいと思います。

(参考) 子どもの声を市長に届けました♪

第23回市民対話会議 (子どもの居場所) 開催！

日時：令和6年12月14日（土）

場所：京都市七条第三児童館

詳細はこちらから



2024年9月27日（金）

居場所や過ごし方等についてのアンケート
集計結果報告書文責：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所
レジリエンス・シンカー 岡本卓也

<アンケートの目的と趣旨>

児童館等を利用する子どもたちの生の声を京都市施策やはぐくみプランに活用等していくために、子どもたちにとって「ここにいたい」と思える場所はどのようなところかをアンケート形式で調査しました。

<アンケート実施期間>

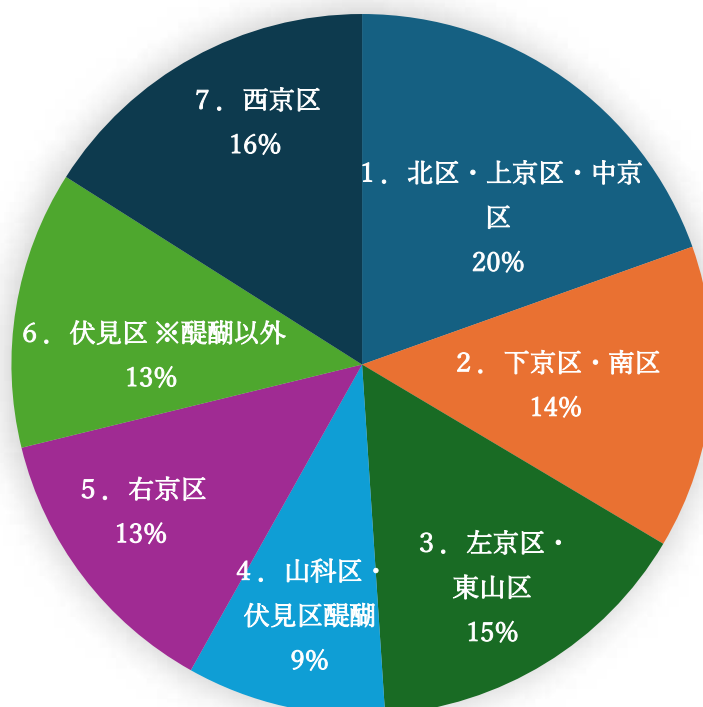
令和6年8月～9月

<アンケート総数>

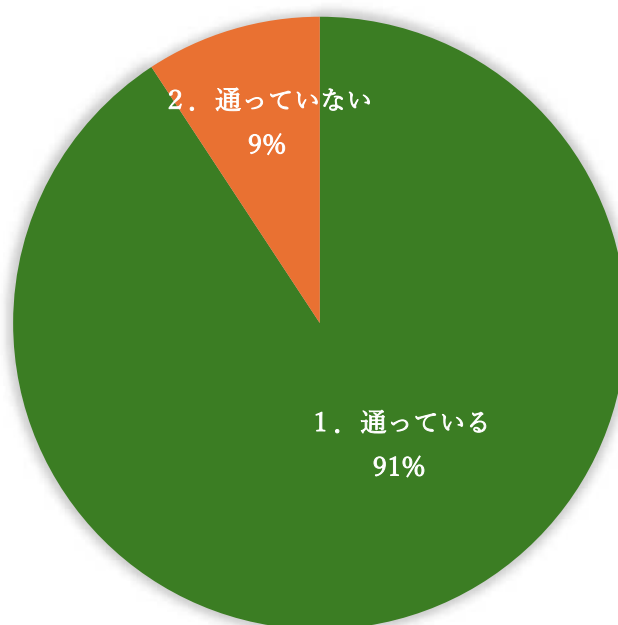
5,298件

<各アンケート項目集計>

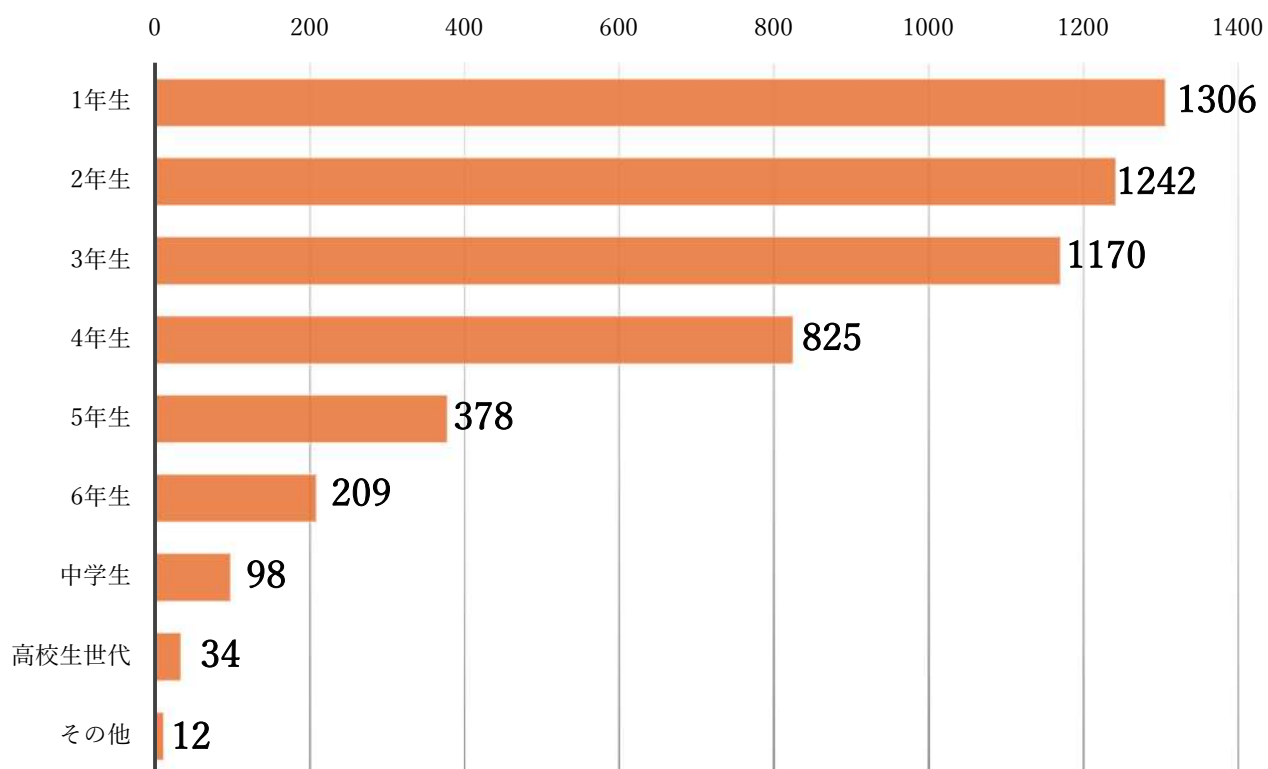
1 あなたはどこに住んでいますか。(N=5,278)



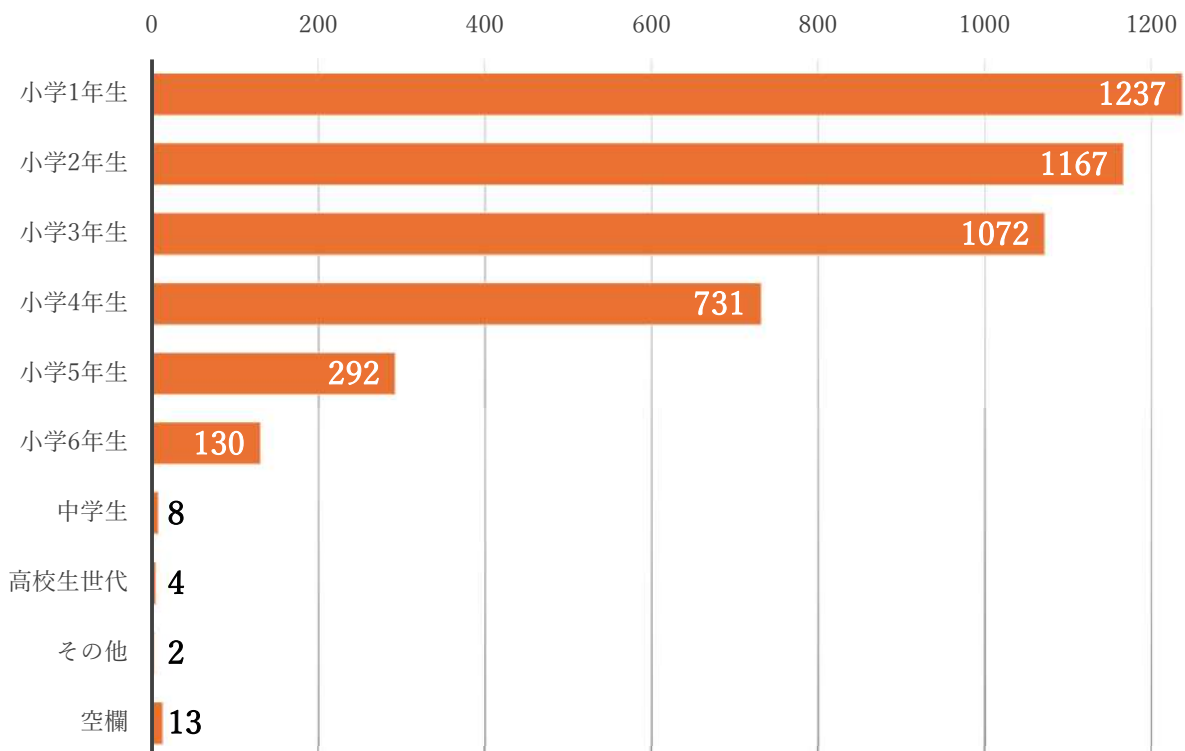
3 児童館の学童クラブに通っていますか。(N=5,132)



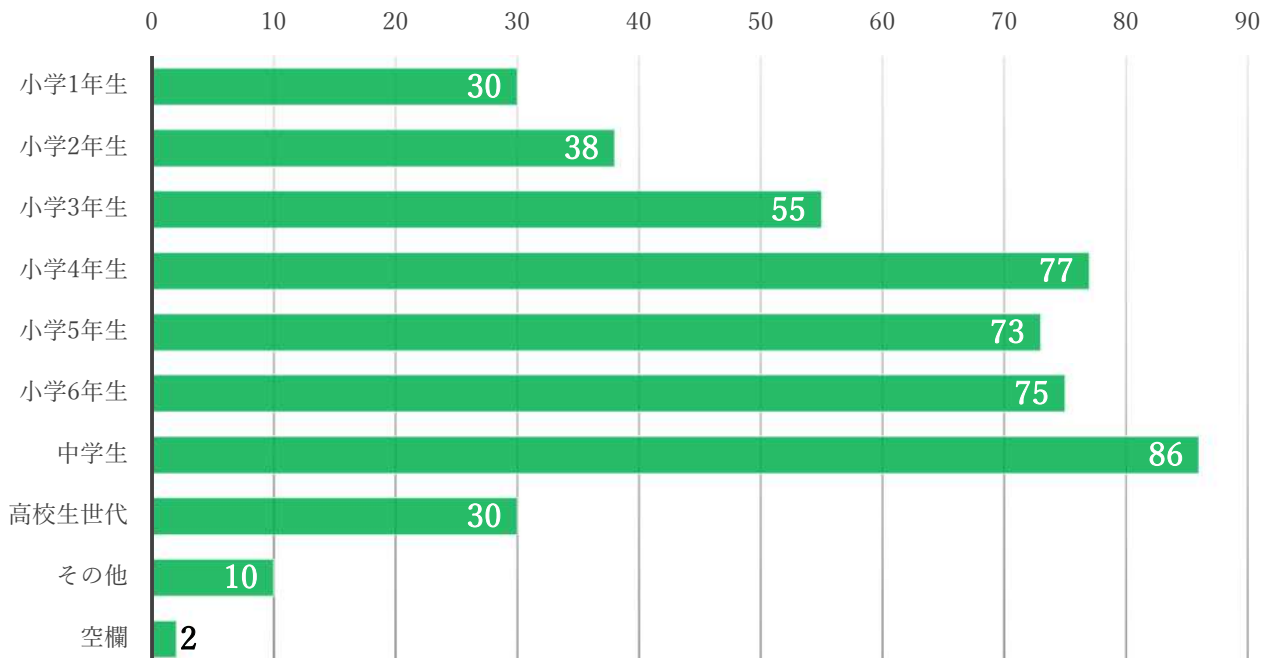
4 あなたは何年生ですか。(N=5,274)



3で「通っている」と回答した児童の学年別集計（N=4,656）

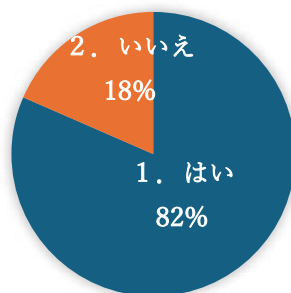


3で「通っていない」と回答した児童の学年別集計（N=476）

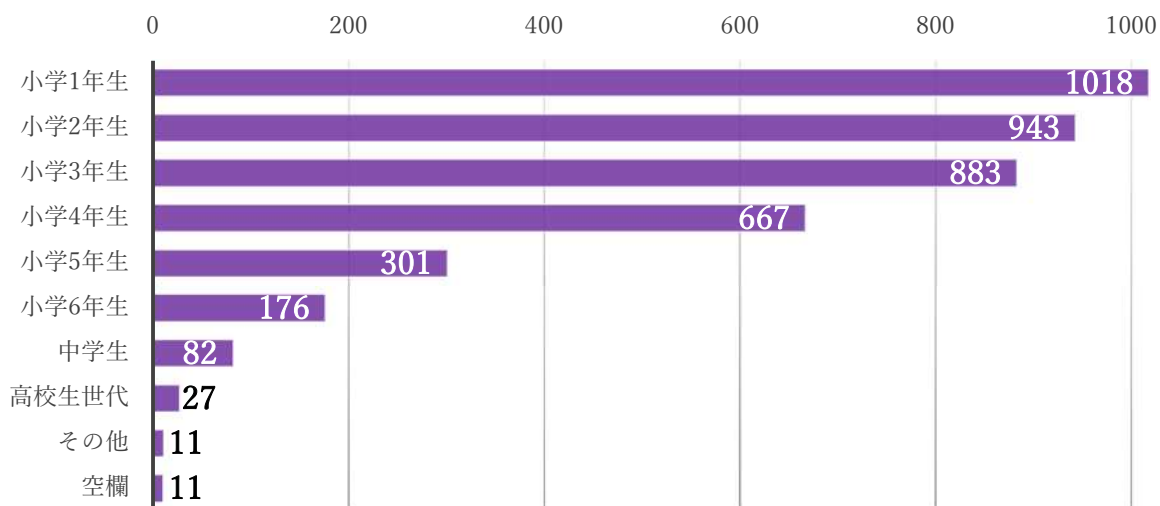


5 あなたは、家や学校のほかに「ここにいたい」と思える場所がありますか。

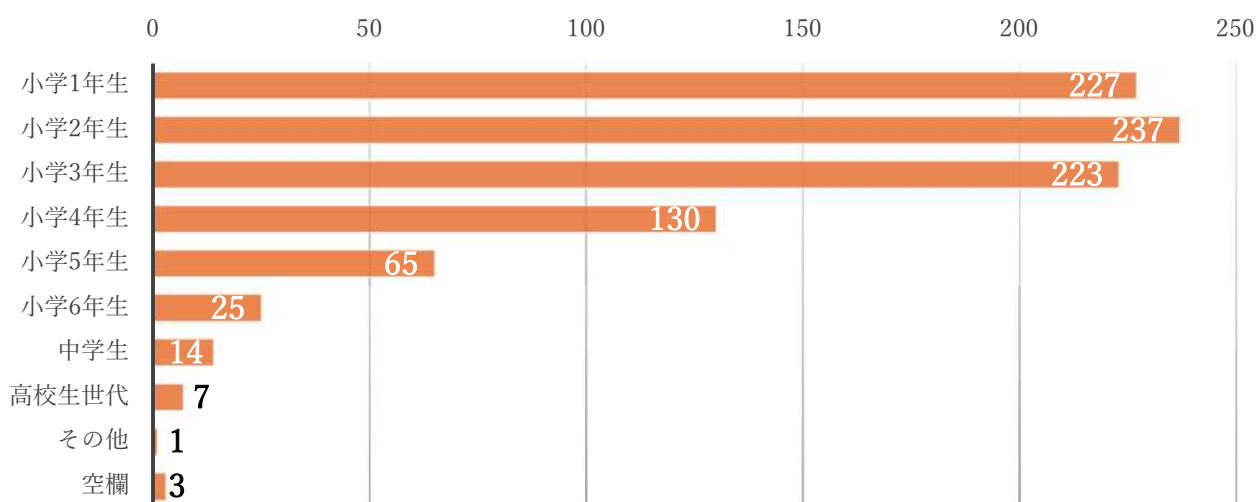
※ たとえば、児童館、友だちの家、公園、図書館、お店 など (N=5,051)



5で「はい」と回答した児童の学年別集計 (N=4,119)



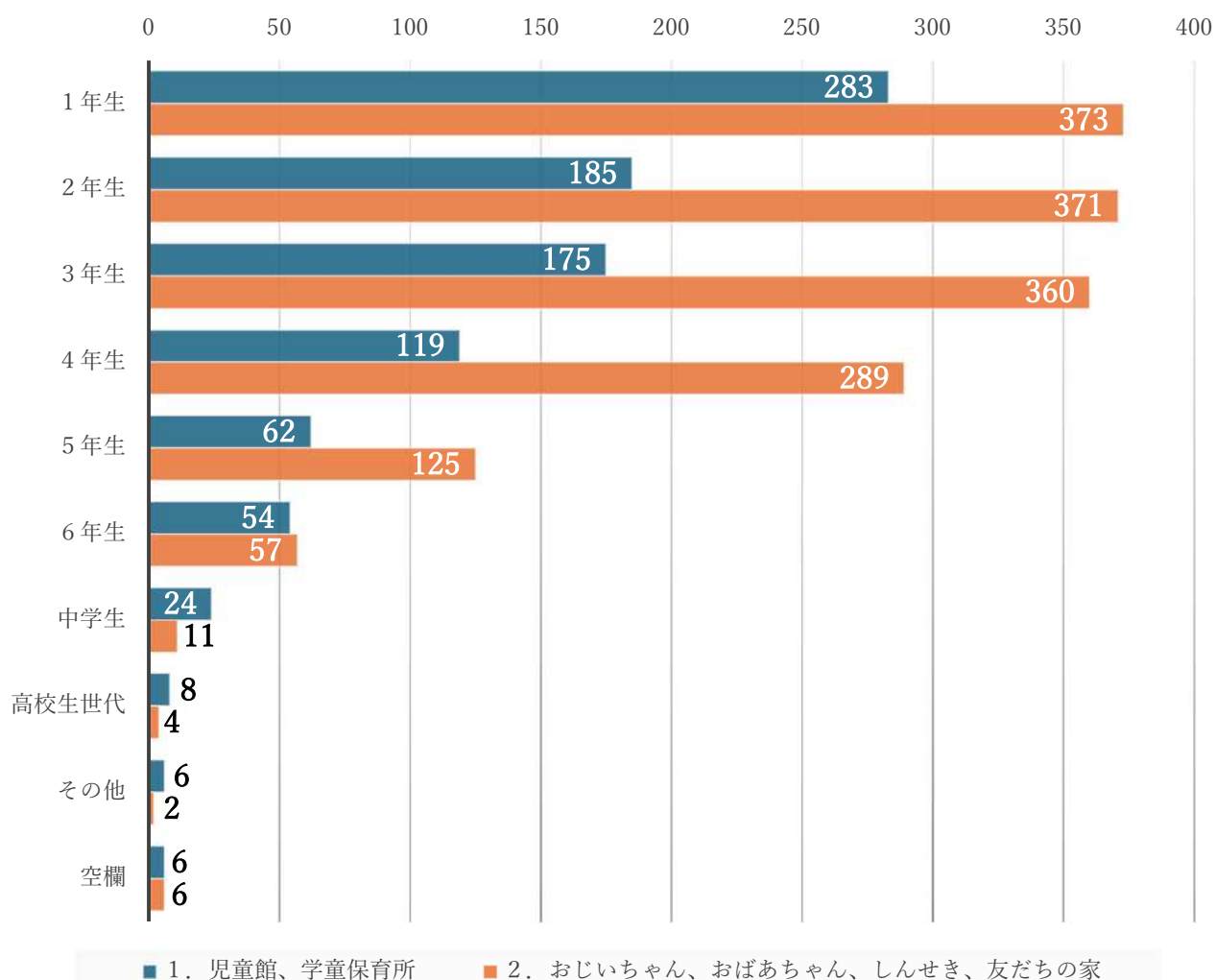
5で「いいえ」と回答した児童の学年別集計 (N=932)



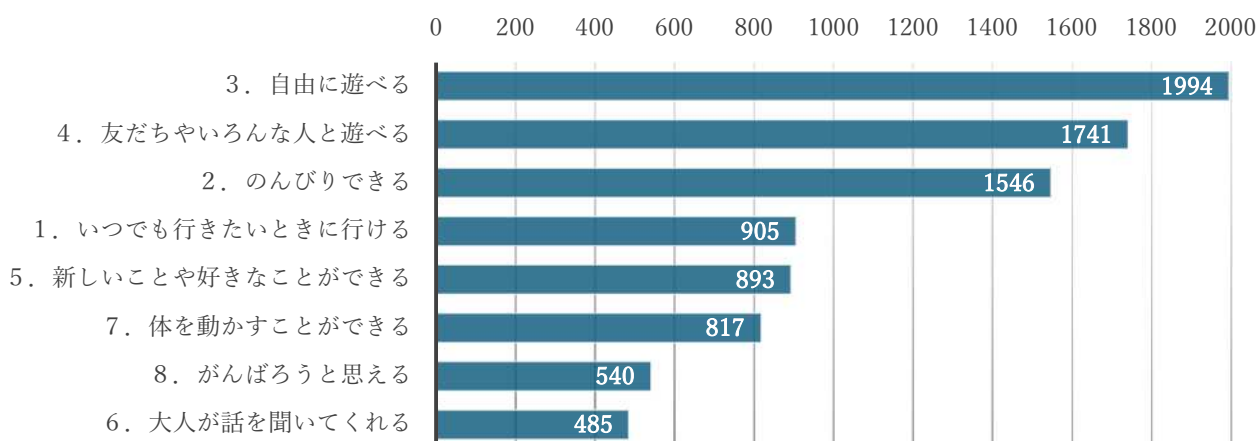
6-1 そこは、どこですか。（「チェック」は1つまで）



6-1で上位回答の学年別集計

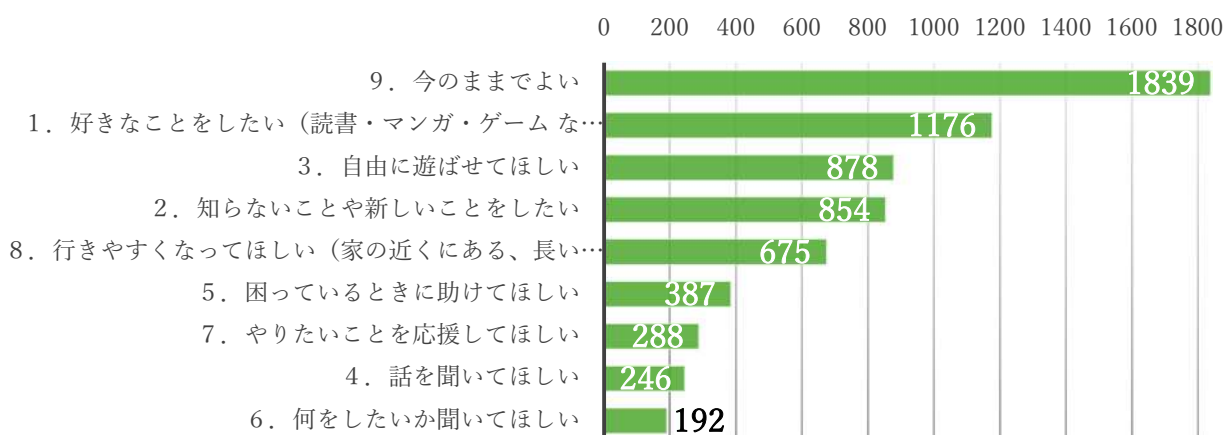


7-1 そこは、どんな場所(ばしょ)ですか。(「チェック」は3つまで)



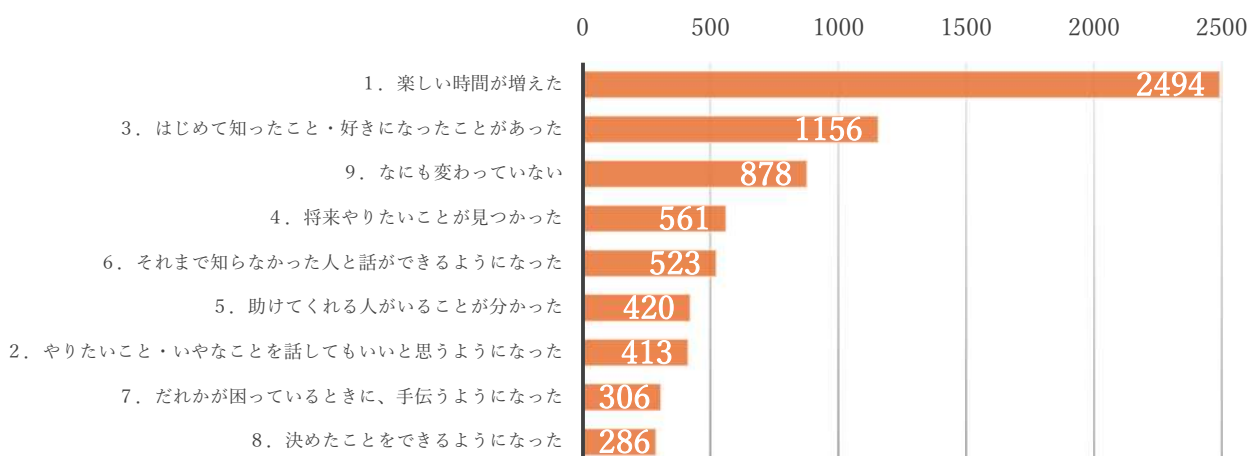
8-1 そこで「もっとこうしてほしい」と思うことはありますか。

(「チェック」は3つまで)

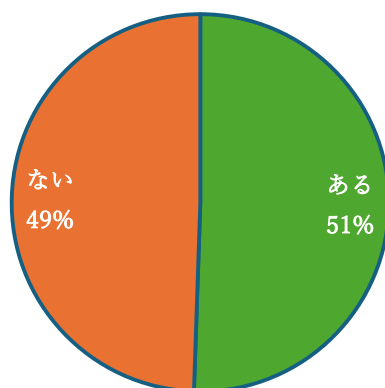


9-1 そこに行く前と行った後で、変わったことはありますか。

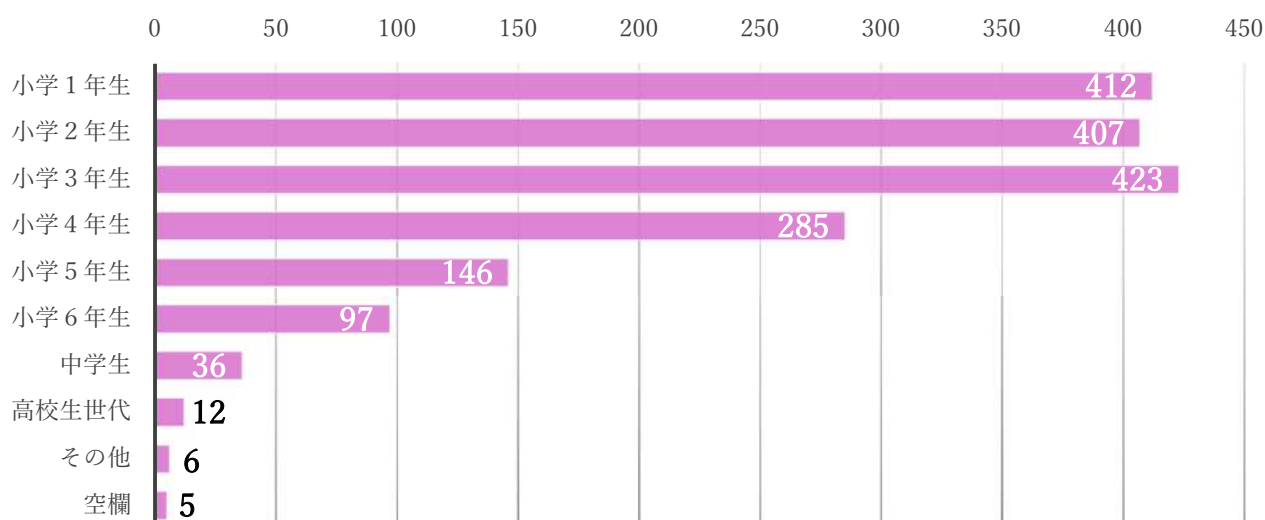
(「チェック」は3つまで)



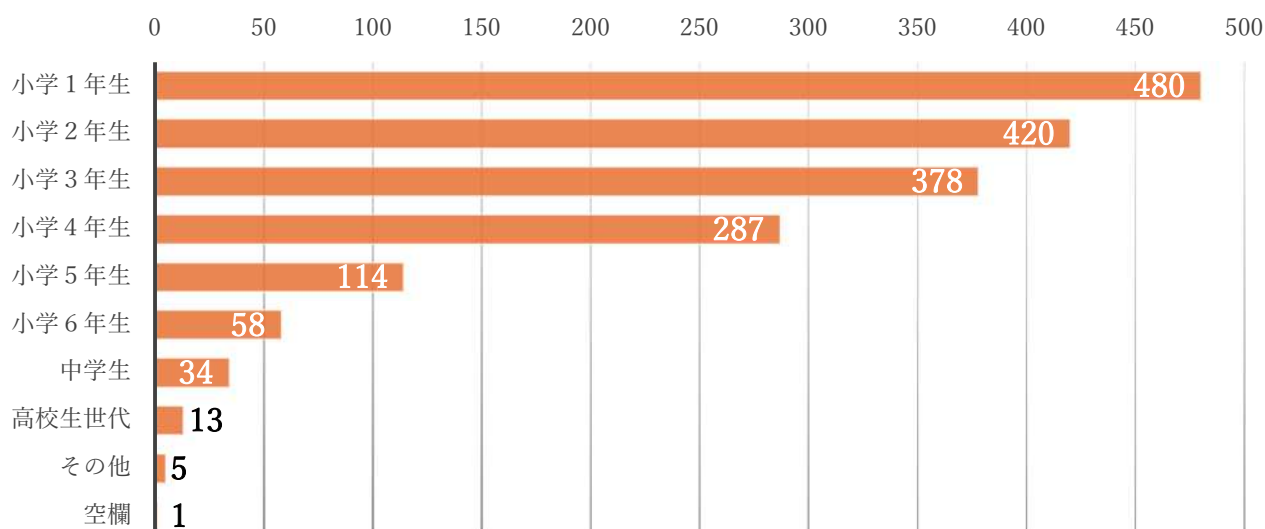
「ここにいたい」と思える場所が、他にありますか。(N=3,619)



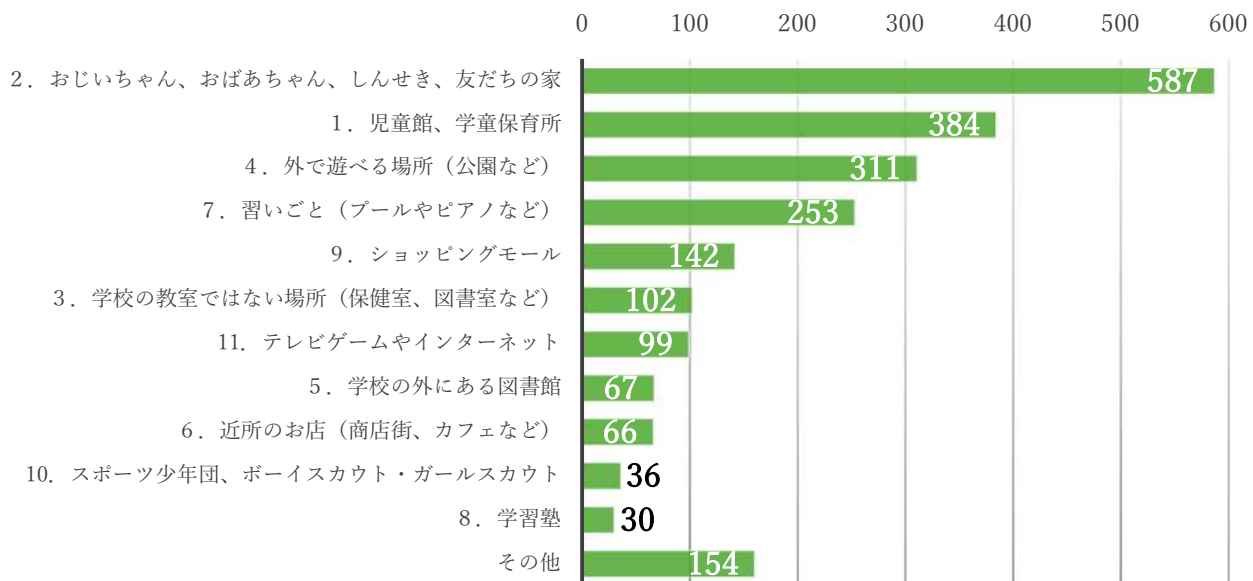
「ある」と回答した児童の学年別集計 (N=1,829)



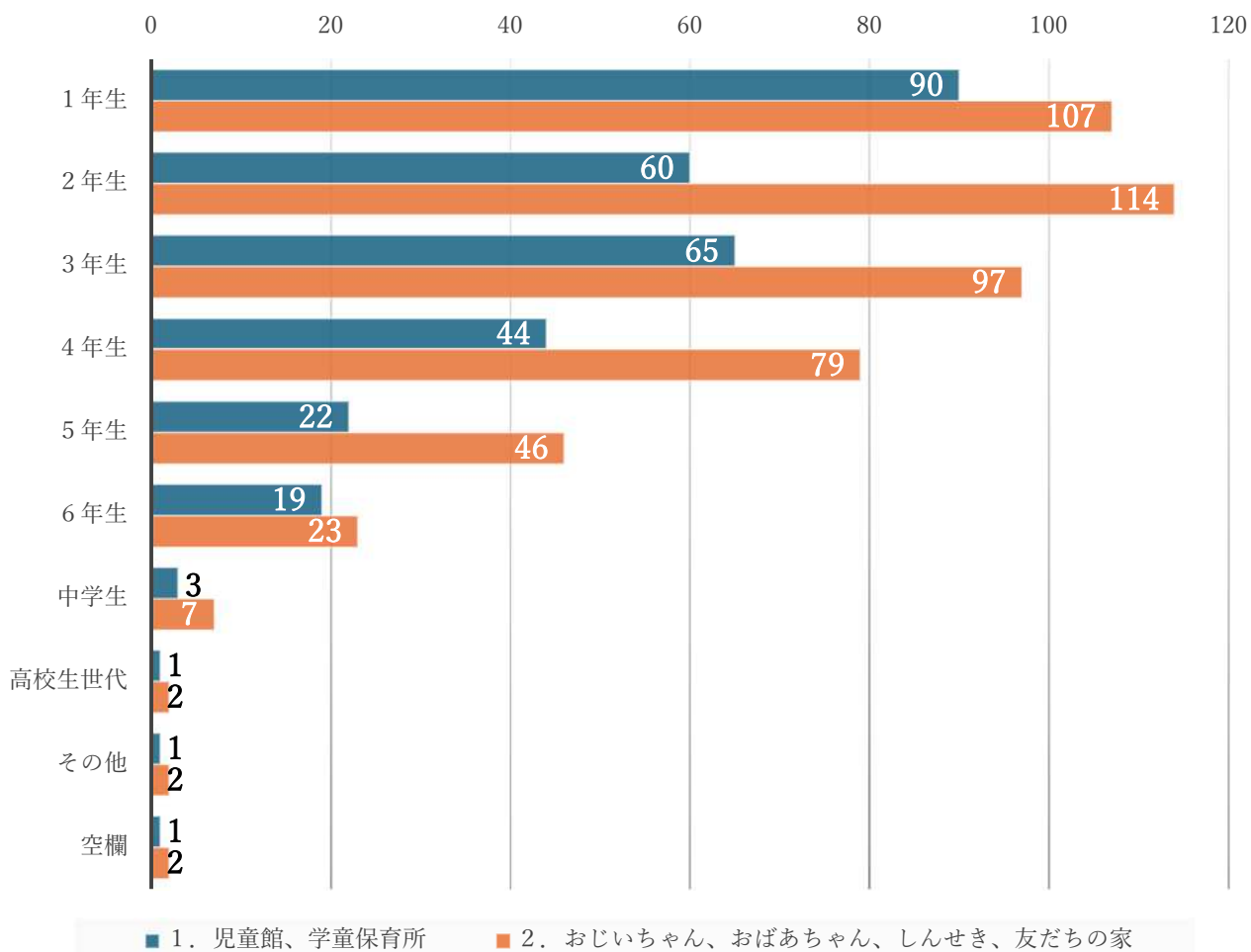
「ない」と回答した児童の学年別集計 (N=1,790)



6-2 そこは、どこですか。（「チェック」は1つまで）

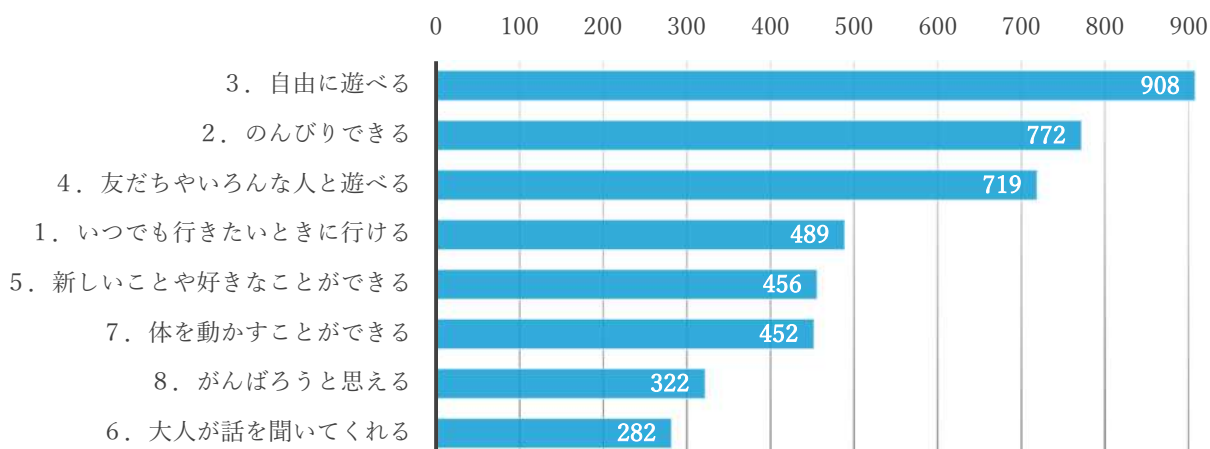


6-2で上位回答数の学年別集計



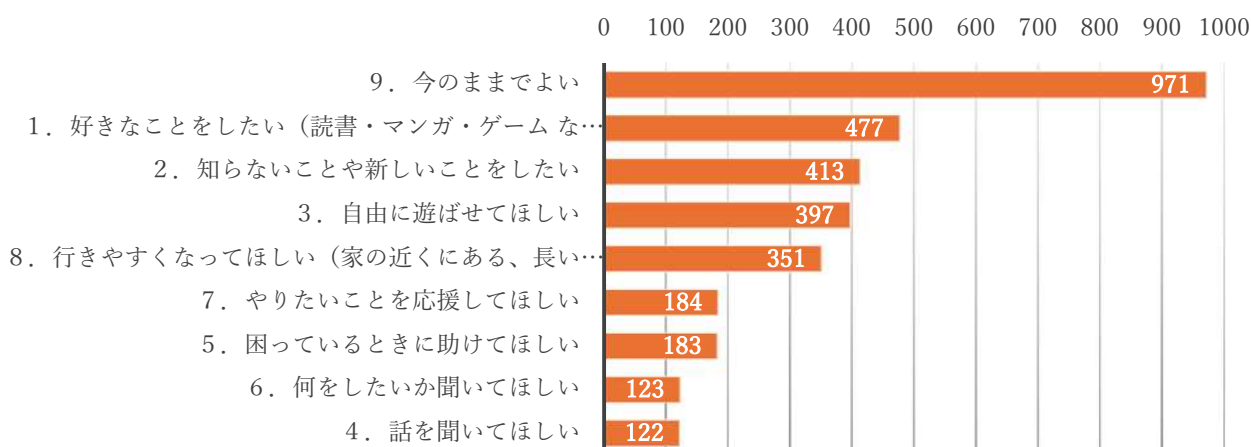
7-2 そこは、どんな場所(ばしょ)ですか。

(「チェック」は3つまで)

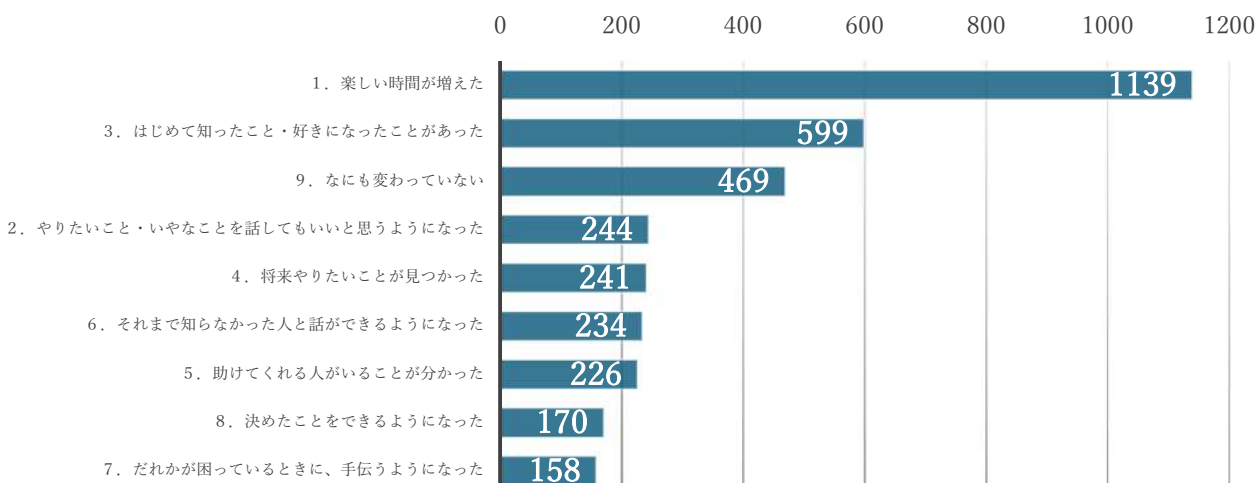


8-2 そこで「もっとこうしてほしい」と思うことはありますか。

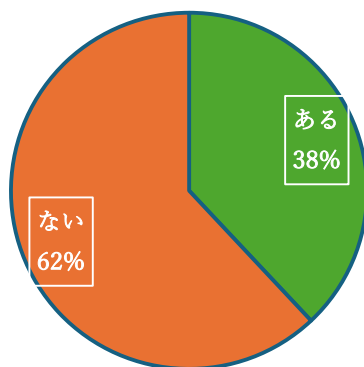
(「チェック」は3つまで)



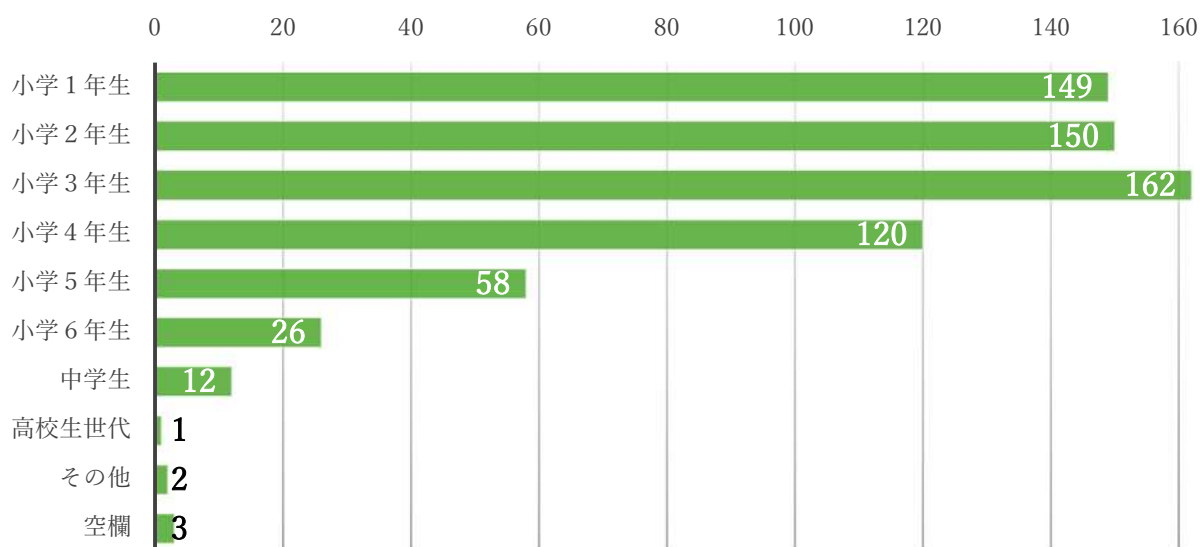
9-2 そこに行く前と行った後で、変わったことはありますか。



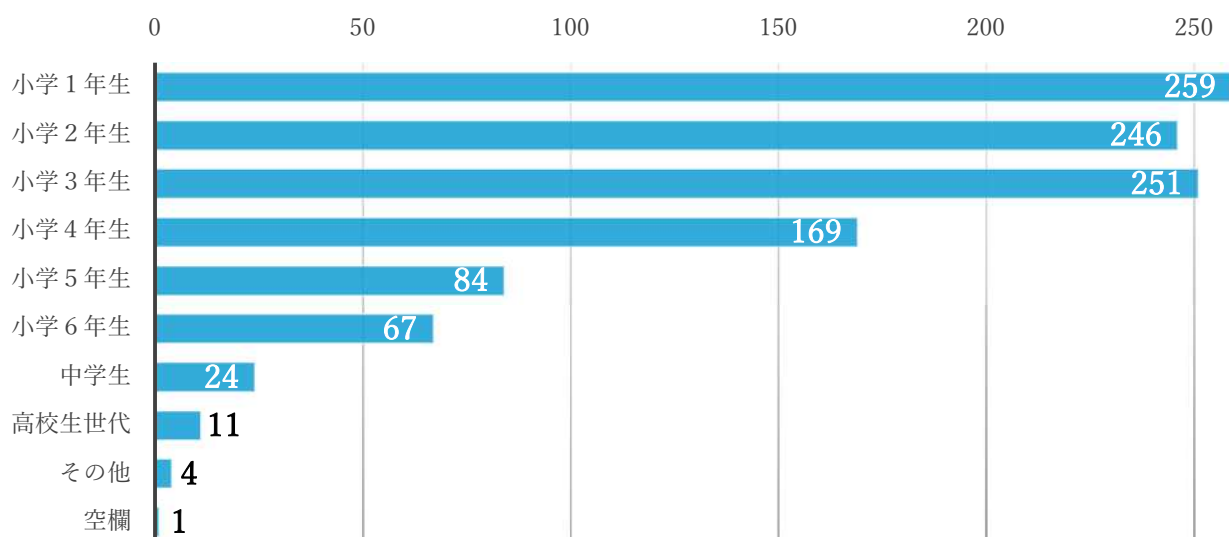
「ここにいたい」と思える場所が、他にありますか。(N=1,799)



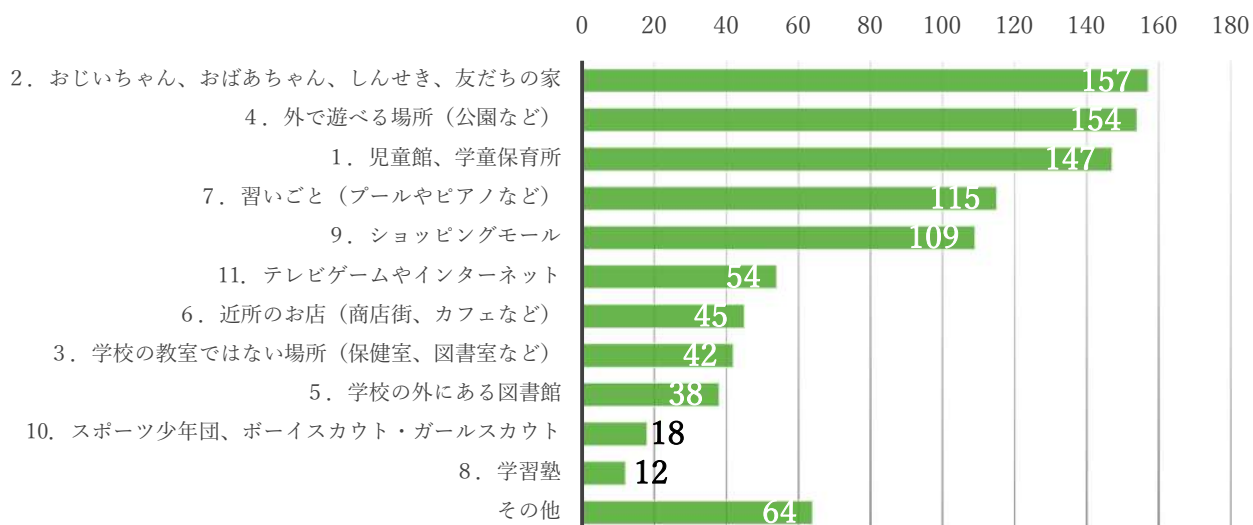
「ある」と回答した児童の学年別集計 (N=683)



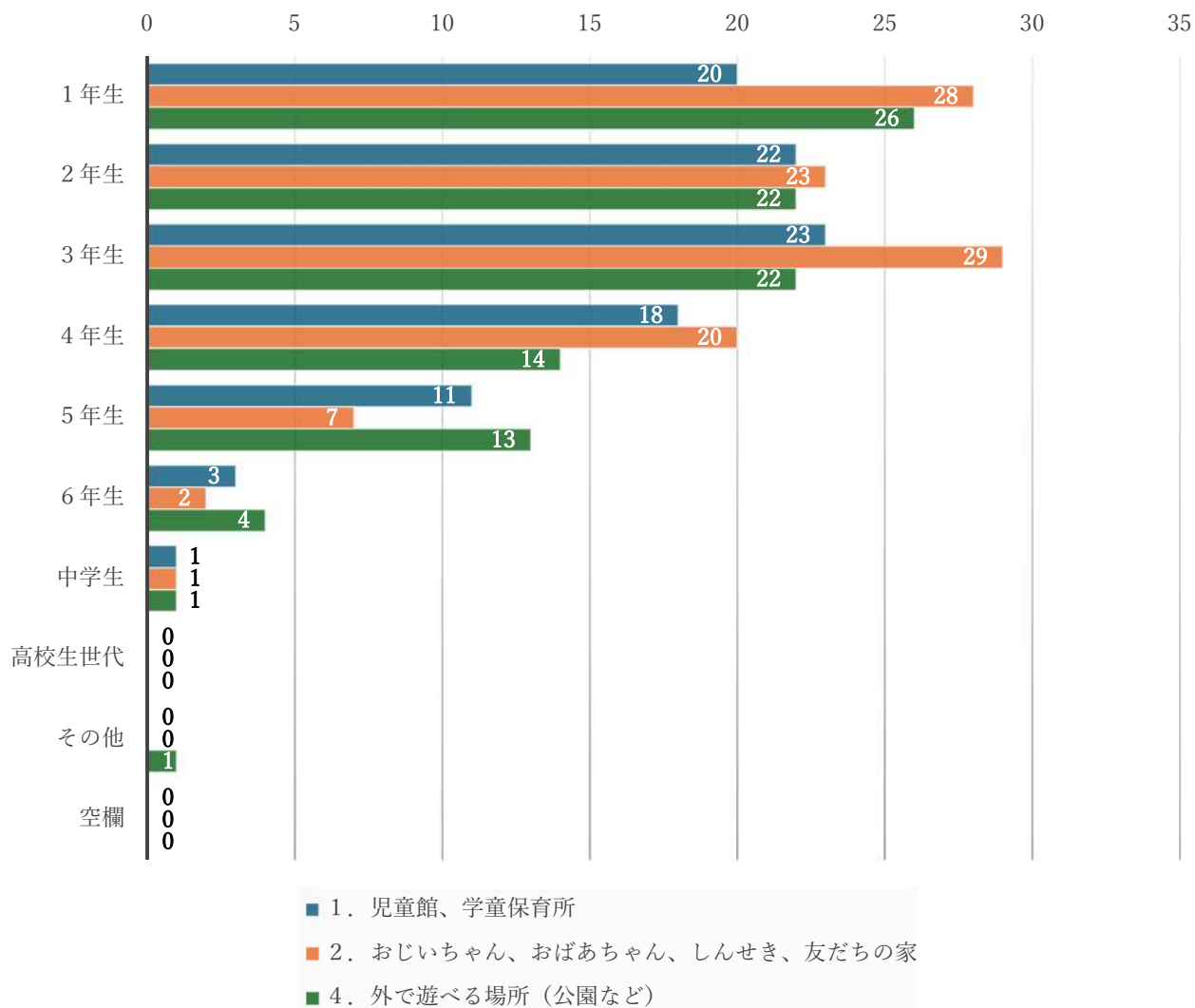
「ない」と回答した児童の学年別集計 (N=1,116)



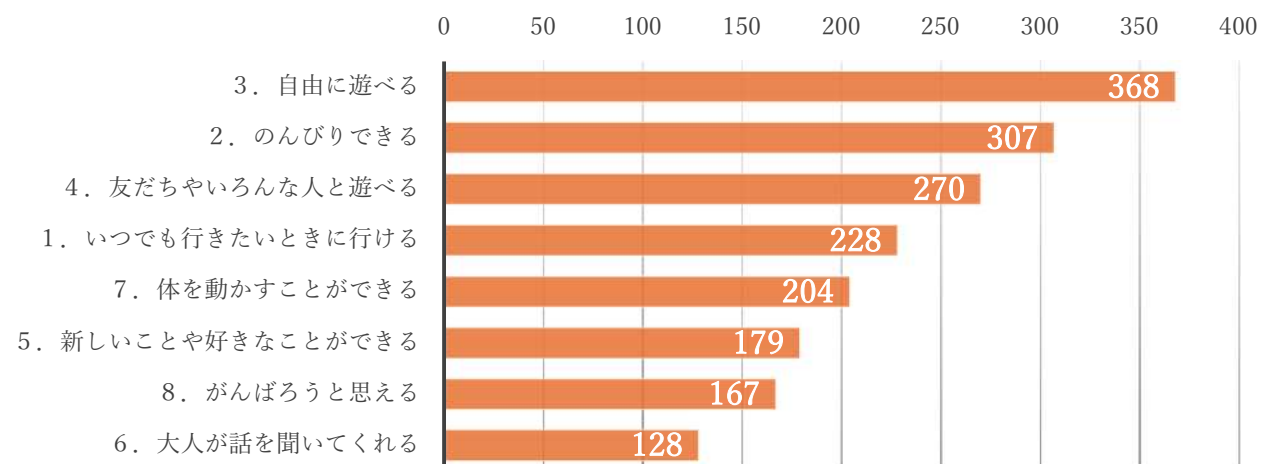
6-3 そこは、どこですか。（「チェック」は1つまで）



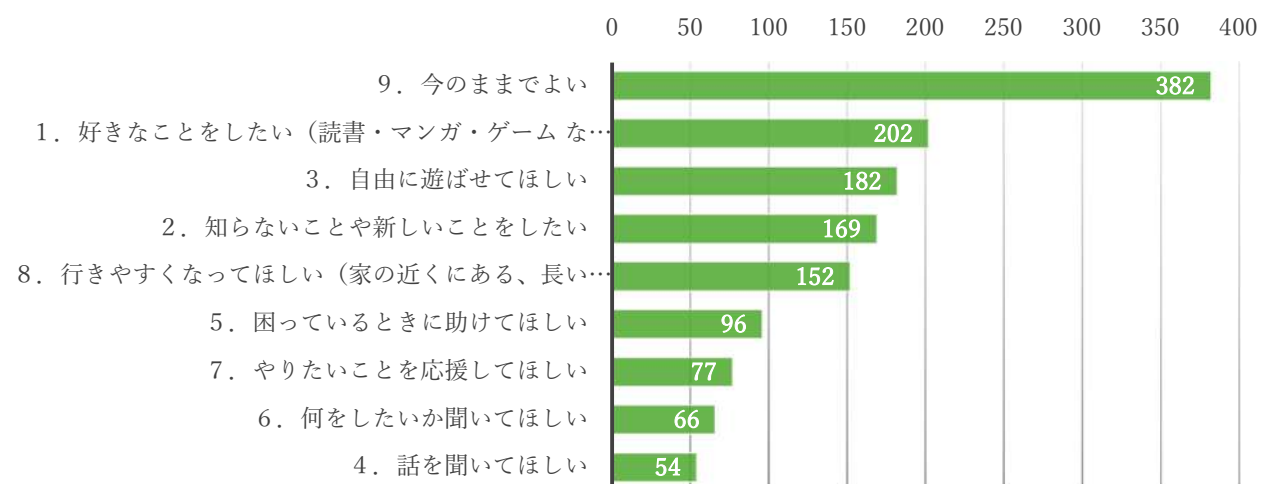
6-3で上位回答数の学年別集計



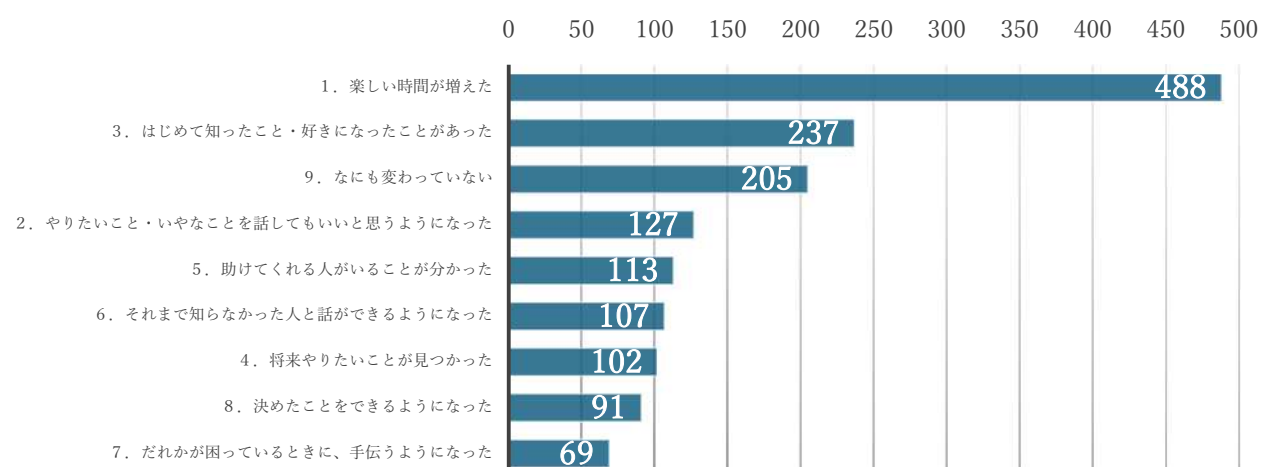
7-3 そこは、どんな場所ですか。



8-3 そこで「もっとこうしてほしい」と思うことはありますか。

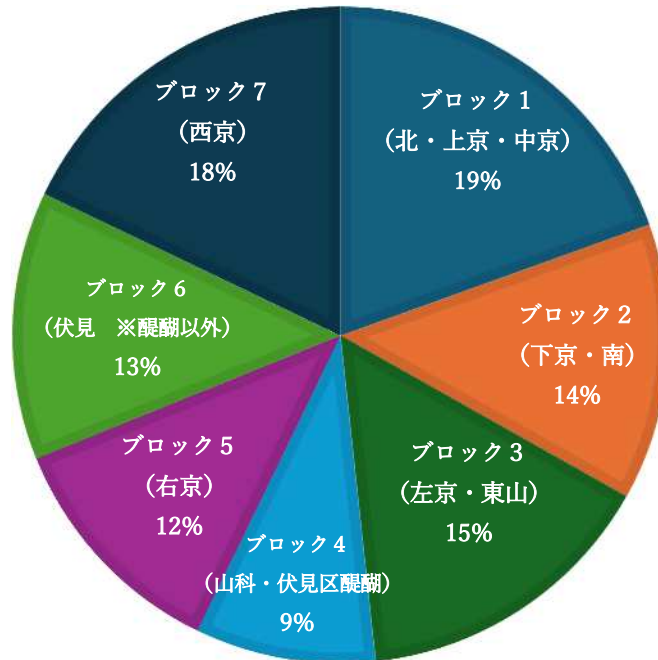


9-3 そこに行く前と行った後で、変わったことはありますか。

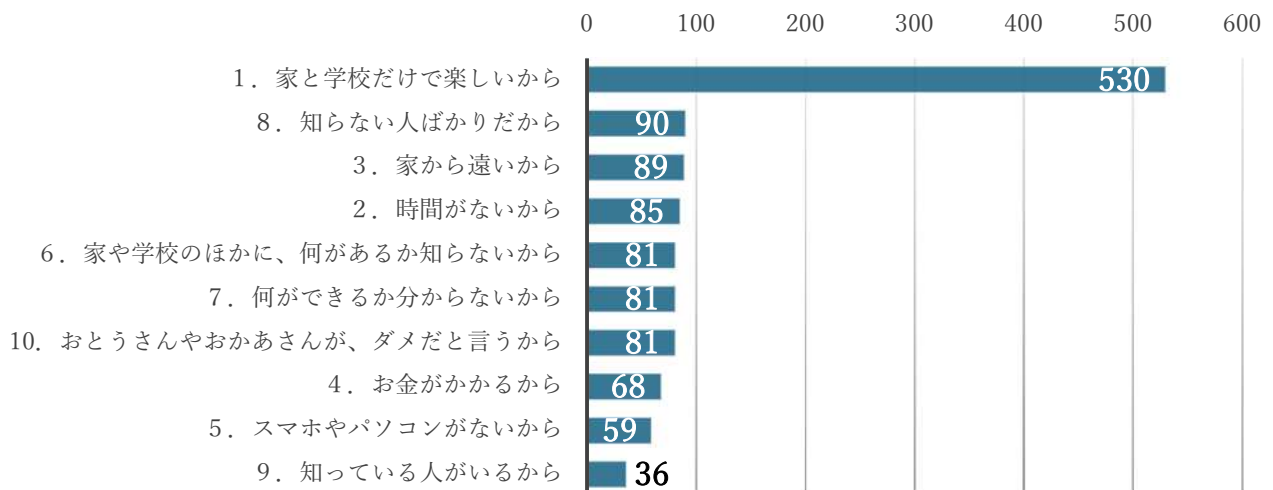


5 で「いいえ」と答えた方の回答

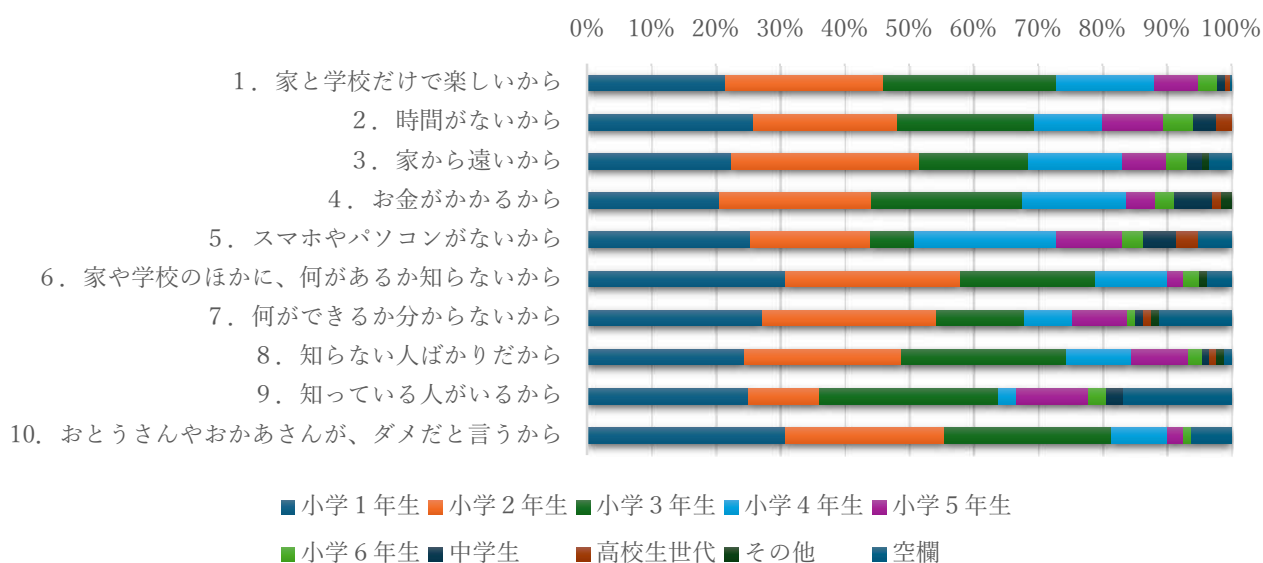
5 で「いいえ」と答えた回答のブロック別比率（N=932）



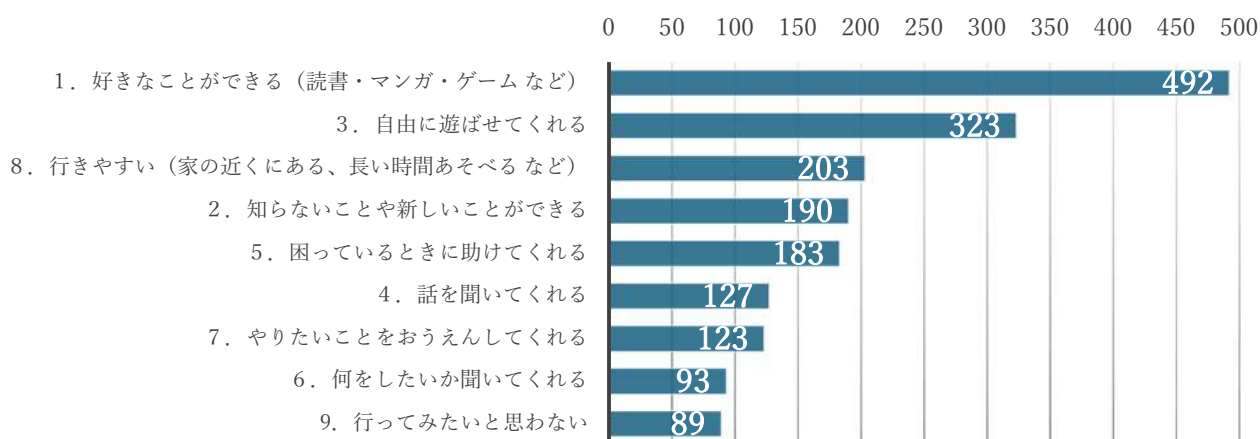
10 家や学校のほかに、「ここにいたい」
 と思える場所がないのはなぜですか。



10 の設問の学年別比率

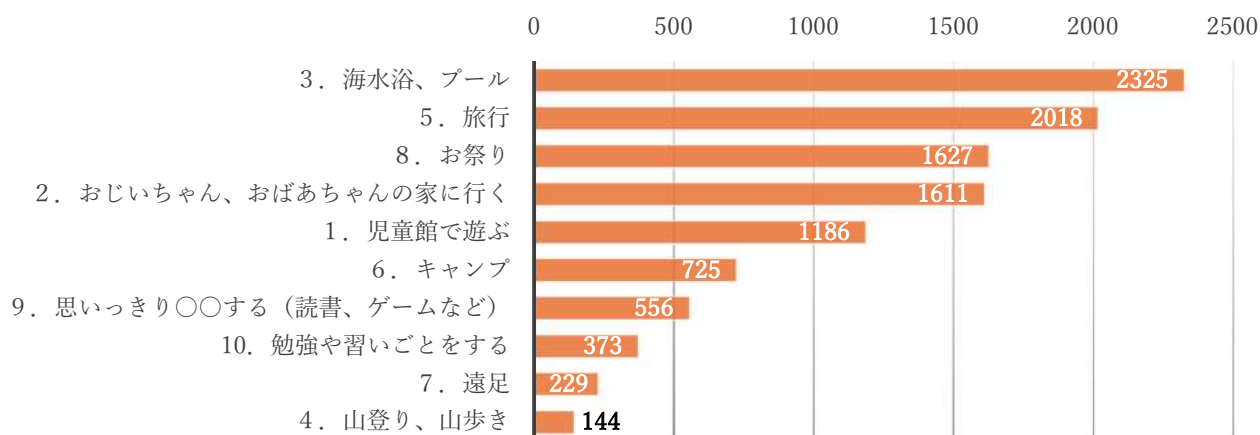


11 どんなところだったら行ってみたいと思いますか。

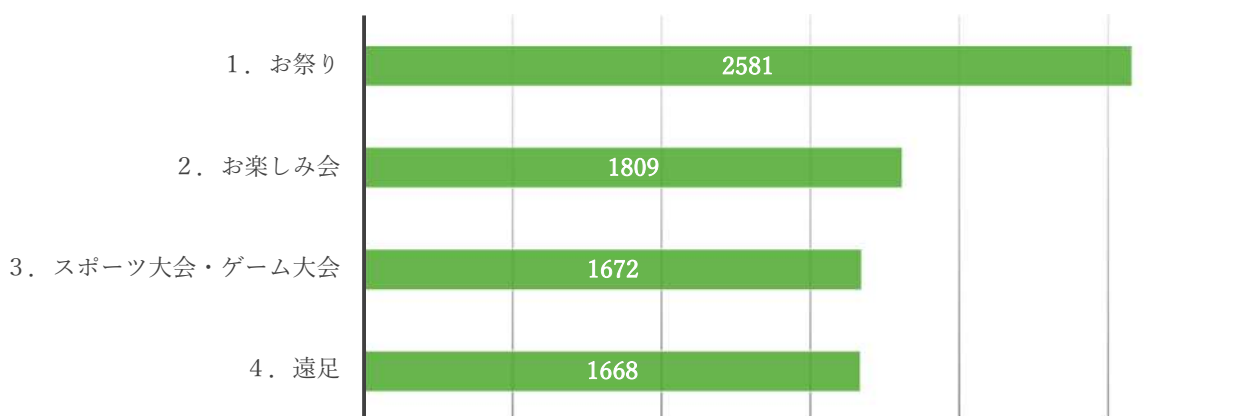


12 夏休みに楽しみにしていることは何ですか。

もう終わっている場合は、夏休みで楽しかったことは何ですか。



13 夏休みや冬休みなど、学校が長い間休みの時に、
児童館でやってみたいことはありますか。



<その他>

工作/卓球/お泊まり会/クリスマス会/友達と遊ぶこと/お化け屋敷/旅行/雪遊び/けん玉検定/サッカー大会/プールに行きたい/けん玉の練習したい/クラブ活動/お買い物ごっこ/普段の遊び/おやつマーケット/BBQ/キッズダンスクラブの発表会/おもちゃで遊びたい/手持ち花火/お弁当つめつめ大会/自分の好きなことができる時間/野球大会/水鉄砲で遊ぶ/百人一首/fcf/ひたすら絵を描く/ガチャの取り組みのソリティア/おやつ食べたい/外でやったことないことをやりたい/みんなでクッキング/クラブ発表会/映画やアニメなどの上映/みんなと遊ぶ/ピクニック/山登り/お笑い

14 最後に、みんなの自由な声を聞かせてください

(1) ハード面について

	内容	件数
1	本・漫画を増やして欲しい	94
2	おもちゃを増やして欲しい	73
3	おやつを増やして欲しい	27
4	児童館を広くしてほしい	29
5	宿題するために wi-fi が欲しい	3

(2) ソフト面について

	内容	件数
1	スポーツがしたい	158
2	自由時間がもっと欲しい	152
3	ゲーム大会・ゲームしたい	118
4	もっとみんなで遊びたい	86
5	勉強や宿題をしたい・勉強の環境を整えてほしい	48
6	外遊びを増やしてほしい	33

(3) 体制について

	内容	件数
1	先生にもっと遊んでほしい	43
2	一部の先生はやさしくしてほしい。もっと子どもの気持ちを考えて行動してほしい	7
3	中学生クラブを児童館に作って欲しい・中高生会が楽しい	5
4	児童館や学童の開始時間や終了時間を変更してほしい（長くしてほしい）	4
5	ルールを守れるように声かけをしてほしい	3
6	大人やお年寄りが児童館に来てほしい・大人も子どもも楽しめる場が欲しい	2
7	児童館に、夏休みでも乳幼児が過ごせる場所を作してほしい（一緒に遊びたいから）	1

(4) その他

	内容	件数
1	知らないことや新しい事に挑戦してみたい	6
2	友達にいじめられている。いじめをなくしてほしい。	5
3	学童の先生が怖くて行きたくない。学校も児童館も先生がもう少し優しくしてくれたらうれしい。もっと子どものいうことをきいてほしい	2
4	みんなに平等に接して欲しい・特別扱いはやめてほしい	2
5	女子だからボールにさわるな、女子だからラケット貸さないなどのことを言われて、女子と男子で区別されるのがいやだった。だから最近あまり楽しくないし、遊べない	1

上記については、主な御意見を集約したうえで、表現を整えて掲載しています。

その他の御意見は以下のとおりです。

他の児童館・保育園の子達と交流したい/自由来館の人にお菓子を出して欲しい/自分の本を持っていき
たい/自然のある場所で過ごしたい/児童館のみんなと旅行に行きたい/お祭りを増やしてほしい/高学年
遊び DAY を作ってほしい/児童館以外でも小学生が遊べる室内が欲しい/筋トレジムを作る/学童の先生
のやりがいや大変なところを聞いてみたい/絵の具が使える部屋が欲しい/ペットを連れていきたい/冬
にホットカーペットをつけて欲しい/ピアノをおいてほしい/ダンスできる場所が欲しい/合宿がしたい/
お花を育てたい/エアコンを新しくして欲しい/ SDGs の活動がしたい

※アンケートの結果は各施設へ提供し運営に活かしていくとともに、京都市施策や次期京都市はぐくみ
プランに活用等していきます。

以上